

沖縄21世紀ビギン



第11回 困った！子どもの病気！～子どもの医療費助成と#8000の活用について～

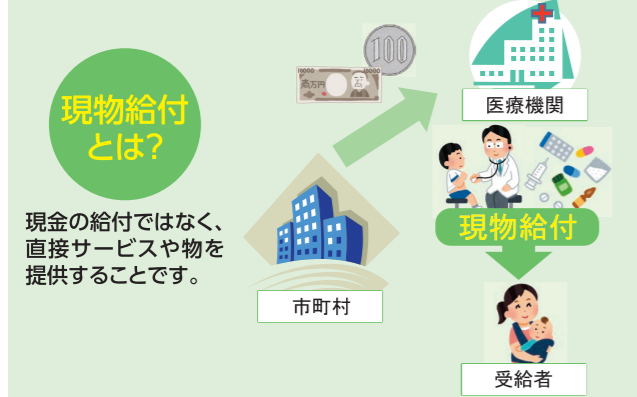
1 子どもの医療費の助成制度が変わります。

県では、平成30年10月から小学校入学前までの子どもの医療費(保険診療に限る)の完全無料化を図ります。医療機関窓口で現物給付の受給者証を提示することにより、原則医療費を支払うことなく医療サービスを受けることができますようになります。

※市町村により、実施時期、対象年齢などが異なる場合があります。
※現物給付に対応していない医療機関がある場合は、これまでどおりの方法により助成を受けることになります。

現行	対象児童	給付方法	一部自己負担金
通院	小学校入学前まで	自動償還	3歳以上1医療機関につき1,000円/月
入院	中学卒業まで		なし

見直し後	対象児童	給付方法	一部自己負担金
通院	小学校入学前まで	現物給付	なし
入院	中学卒業まで		

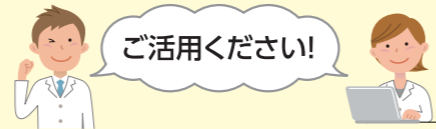


問い合わせ 県保健医療総務課 電話: 098-866-2169

2 医療機関の適正受診を心がけましょう。

救急病院は、命に関わる緊急を要する患者に備えるためのものです。

窓口負担の無料化により軽症者の救急病院の受診が増えると、重症者の診療に支障をきたすことがあります。



① 小児救急電話相談「#8000」

夜間の子どもの急な病気や判断に迷った時に、看護師等からアドバイスを受けることができます。

- 相談日時：毎日・夜間 午後7時～午後11時
- プッシュ回線の固定電話・携帯電話からは、**局番なしの#8000** (ダイヤル回線等の場合は **098-888-5230**)

② 子ども救急ハンドブック

急病やけがの時に受診が必要かどうか判断できるように症状ごとにポイントをまとめています。



問い合わせ 県医療政策課 電話: 098-866-2111

広告

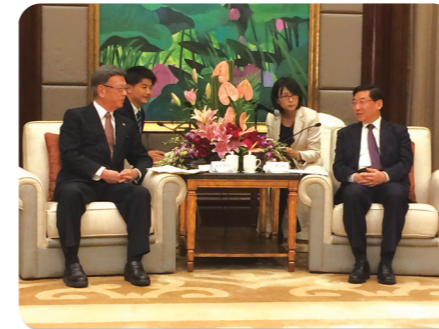
祝! 沖縄県・福建省友好県省締結20周年!

2017年、沖縄県と中国福建省は友好県省を締結して20周年の節目を迎え、両県省で様々な行事を開催しました。

友好県省締結の背景

双方の交流の始まりは、沖縄が「琉球」と呼ばれていた600年以上前に遡ります。琉球は、中国を中心にアジア諸国との海外交易・交流を精力的に行い、発展を遂げました。とりわけ地理的に近い福建省とは盛んに交流を行ってきました。先人達の交流の歴史を基礎として、1997年9月、沖縄県と福建省は友好県省を締結しました。

福建省での記念行事



于偉国(ウ・イコク)省長との会談

2017年11月10日、福建省で行われた友好県省締結20周年記念祝賀会に、県から知事を筆頭に110名が出席し、于偉国省長ほか多くの関係者とこの節目を盛大に祝いました。また、双方の芸能団による合同公演や沖縄観光物産展、経済交流セミナーを開催し、沖縄の文化や観光、物産、投資環境などを発信しました。さらに、両県省の若者を集め「沖縄・福建若者交流会」を開催し、ワークショップ等を通して交流を深め、将来にわたるネットワークの構築を図りました。

沖縄・福建若者交流会



県内での記念行事

9月、福建省の大学生が沖縄を訪れ、県内大学生と記念植樹、交流会等を実施しました。

11月20日、記念式典の開催に先立ち、両県省の交流をテーマとしたシンポジウムを開催しました。約300名の方が集まり、食や空手といった身近なものから、双方の繋がりについて楽しく学びました。

双方の大学生による記念植樹



11月24日、那覇市内で友好県省締結20周年記念式典・レセプションを開催しました。式典には、李徳金副省長を始め、省政府関係者、福建省企業関係者、県内交流団体、経済団体代表者など約160名が出席し、友好を深めるとともに、次の20年を見据えたより一層の交流拡大を約束しました。



友好県省締結20周年記念式典(沖縄開催)

沖縄県は、今回の20周年記念事業を機に、今後も多くの分野で福建省と協力しながら、ともに発展していきます。



問い合わせ 県交流推進課 電話: 098-866-2479 FAX: 098-866-2960